

(様式第7号)

九州佐賀国際空港展望デッキリニューアル工事 (公告内容等、設計図書の内容) に対する質問・回答書

質 問 事 項 及 び 要 旨	回 答
1. 共通	
メーカー品名品番のあるものは参考メーカー品名品番と考えて同等品は可能と考えて良いでしょうか、ご指示下さい。また同等品で不可な物があれば併せてご指示下さい。	宜しいです。
<構造>	
2. A-11-001	
部分詳細図(1) D-113 アルミ手摺基礎増打詳細図で、配筋仕様がコンクリートアンカーD10が1本のみを図示ですが、宜しいでしょうか。配筋及び別のアンカーが必要であれば、仕様をご指示下さい。	コンクリートアンカーD10が1本に加え、増打ち部にタテ、ヨコ、シングルD10@200の配筋をお見込みください。 変更協議の対象といたします。
3. A-05-004、A-11-002	
部分詳細図(2) D-201 R階既存スロープ+ウッドデッキ取合(改修前・改修後)で、改修後の土間コンクリートの高さがRFLから460+165=625のレベルになっていますが、既存スラブ高さがRFL+500で高さが相違しています。RFL+500を正と考え土間コンクリート厚みを0~133mmと考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。	RFL+500を正としてください。
4. A-11-002	
部分詳細図(2) D-201 R階既存スロープ+ウッドデッキ取合(改修前・改修後)で、既存スロープ撤去部の断面詳細がありません。撤去部の断面詳細をご指示下さい。	R階平面詳細図(A-05-004)を参照してください。既存スロープの幅員はW1600、コンクリート立上り部についてはW200となります。(既存鉄筋は縦横D10@200程度と想定しております。)
5. A-05-004、A-11-002	

(様式第7号)

<p>部分詳細図(2) D-201 R階既存スロープ+ウツドデッキ取合(改修前・改修後)で、立断面図(改修後)に撤去後の床がモルタル塗りとありますが、既存防水がスロープ下にはないと思われる為、新たに防水+押エコンが必要になると思われます。その為スロープ廻りの防水押エコン撤去で既存防水に新規防水を重ねる納まりになると思われますので既存押エコン撤去範囲をご指示下さい。</p>	<p>スロープの周囲300mmを撤去範囲としてお見込みください。 変更協議の対象といたします。</p>
<p>6. A-11-002</p>	
<p>部分詳細図(1) D-113で、押エコンはつりとありますが、D-109で、押エコンの下は断熱材で、撤去時に傷める為、断熱材も撤去・復旧が必要になると思われます。断熱材も撤去・復旧と考えると宜しいでしょうか。ご指示下さい。</p>	<p>宜しいです。 変更協議の対象といたします。</p>
<p>7. A-11-004、S-01</p>	
<p>R階設備スペース部外壁改修図でパラペット上部に横胴縁C-100×50×20×2.3がありますが取付方法が不明です。後施工アンカーによる固定でしょうか。下部横胴縁の取付方法をご指示ください。</p>	<p>あと施工アンカーでの固定をお見込みください。 変更協議の対象といたします。</p>
<p><意匠> (内部)</p>	
<p>8. A-05-002</p>	
<p>4階平面詳細図(改修前)でEV入口壁にW-23とありますが、平面図よりEV入口両サイド壁W500程度もW-23(耐火壁)で、GBRt12.5+FKt8.0をスラブ～スラブまでの撤去と考えると宜しいでしょうか。ご指示ください。</p>	<p>宜しいです。 変更協議の対象といたします。</p>
<p>9. A-05-002</p>	

(様式第7号)

<p>4階平面詳細図(改修前)で④通り階段入口壁に撤去の図示がありませんが、壁仕上塗装が変わる為下記の様に撤去・新設を見込んで宜しいでしょうか。ご指示ください。</p> <p><input type="checkbox"/> 撤去 (W-23)GBRt12.5+繊維混入珪酸カルシウム板 スラブ～スラブ LGS残し</p> <p><input type="checkbox"/> 新設 (W-23)GBRt12.5+繊維混入珪酸カルシウム板+EP スラブ～スラブ 既存LGS面</p>	<p>宜しいです。 壁仕上を他の壁と同様にしてください。 変更協議の対象といたします。</p>
<p>10. A-05-002</p>	
<p>上記質疑が正であれば、建具のサイズをご指示ください</p>	<p>W1200, H2200をお見込みください。</p>
<p>11. A-05-002</p>	
<p>4階平面詳細図(改修前)に便所7前室がありますが、内部仕上表に部屋が見あたりません。男子便所と同仕様と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。</p>	<p>宜しいです。</p>
<p>12. A-05-002</p>	
<p>上記質疑に併せて男子便所と同仕様であれば、三方枠:撤去 W1050×H2640とありますが、便所天井高がH2400の為W1050×H2400と読替えて宜しいでしょうか。ご指示ください。</p>	<p>宜しいです。</p>
<p>13. A-05-002</p>	
<p>4階平面詳細図(改修前)で男子便所・女子便所入口に開口がありますが、展開図が無い為サイズが分かりません。開口サイズと三方枠の仕様をご指示ください。</p>	<p>男子便所開口:W950×H2400、女子便所開口:W900×H2400、仕様についてはアルミ三方枠 t=3, W25をお見込みください。 変更協議の対象といたします。</p>
<p>14. A-05-002</p>	
<p>4階平面詳細図(改修前)で男子便所、女子便所にライニングの図示がありますが、ライニングの仕様・高さが分かりません。各ライニングの仕様と高さをご指示ください。</p>	<p>ライニング 面台:W=200 人工大理石t30、ライニング 壁:磁器質タイル100角、耐水石膏ボード t12.5、LGS t65 H=1000をお見込みください。</p>
<p>15. A-05-002</p>	

(様式第7号)

<p>4階平面詳細図(改修前)で階段側の男子便所～PS壁が撤去ですが、階段にW-23耐火壁記号がある為、下記の様に壁撤去を見込んで宜しいでしょうか。ご指示ください。</p> <p><input type="checkbox"/> 男子便所 磁器質タイル+GBSt12.5 天井まで + (W-23)GBRt12.5+繊維混入珪酸カルシウム板 スラブ～スラブLGS残し</p> <p><input type="checkbox"/> PS GBSt12.5 天井まで + (W-23)GBRt12.5+繊維混入珪酸カルシウム板 スラブ～スラブLGS残し</p>	<p>階段側の男子便所～PS壁は壁仕上:撤去のため、以下のようにお見込みください。</p> <ul style="list-style-type: none">男子便所:磁器質タイル+珪酸カルシウム板t8+GBRt12.5 天井までPS:珪酸カルシウム板t8+GBRt12.5 天井まで
16. A-03-002、A-05-002	
<p>内部仕上表(2)で既存4F-PS壁に繊維混入珪酸カルシウム板+GBRt12.5+W-56とあり4枚張撤去となります。平面詳細図のW-56壁は下記の様に撤去と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。</p> <p><input type="checkbox"/> GBSt12.5+繊維混入珪酸カルシウム板 撤去</p>	<p>宜しいです。</p>
17. A-05-002	
<p>一般間仕切の撤去は天井までと考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。</p>	<p>宜しいです。</p>
18. A-03-002 工事費内訳書	
<p>内訳書で4階トイレ改修工事の撤去に汚垂石撤去とありますが、仕上表の床・備考欄に汚垂の記載がありません。トイレの汚垂撤去は工事費内訳書を正と考えて撤去が必要と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。</p>	<p>宜しいです。</p>
19. A-06-002	

(様式第7号)

<p>水廻り詳細図(2)でライニング面台が下記の様に相違しています。t20を正と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。</p> <p><input type="checkbox"/> W-105 小便器 t25</p> <p><input type="checkbox"/> W-109 ライニング面台 t20</p>	<p>宜しいです。</p>
<p>20. A-06-001</p>	
<p>水廻り詳細図(1)の器具表で汚垂タイルにAB680BRとありますが、平面図では汚垂がW900程度の為AB690BRと読替えて宜しいでしょうか。ご指示ください。</p>	<p>宜しいです。 (汚垂タイル：W900×D600)</p>
<p>21. A-06-001、P-001</p>	
<p>水廻り詳細図(2)W-105小便器にライニング詳細がありますが、設備図の衛生器具表に小便器ライニングの計上があり重複しています。本工事を正と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。</p>	<p>機械設備工事を正としてください。 変更協議の対象といたします。</p>
<p>22. A-06-001、工事費内訳書</p>	
<p>水廻り詳細図(1)の器具表でパブリック用手摺(P型)T112CP26とありますが、工事費内訳書ではI型手摺T112C6と相違しています。I型手摺を正と考え、パブリック手摺P型は無いと考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。</p>	<p>I型手摺を正とし、A-06-002 W-107 便所手摺・手摺取付詳細図のパブリック手摺：TOT0:T112C6同等品以上をお見込みください。</p>
<p>23. A-06-001、P-001</p>	
<p>設備図の衛生器具表に全身鏡(建築工事)とありますが、水廻り器具表に記載が見あたりません。全身鏡は無い物と考えて宜しいでしょうか。必用であれば取付下地を含めてご指示ください。</p>	<p>宜しいです。</p>
<p>24. A-06-002</p>	

(様式第7号)

<p>水廻り詳細図(2)でW-103とW-104で出隅見切の仕様が相違しています。W-104の仕様がW-103と一致するようにしてください。</p>	<p>宜しいです。</p>
<p>25. A-05-003 A-06-001</p>	
<p>4階平面詳細図(改修後)で便所の外壁側にGW壁記号がありますが、水廻り詳細図にはGWの記号がありません。便所外壁側にGWは不要と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。</p>	<p>宜しいです。</p>
<p>26. A-06-001</p>	
<p>水廻り詳細図(1)の平面図でPS-廊下間・男子便所DS-廊下間の壁記号にGWの記載がありませんが、壁にはGWの図示があり相違しています。PS-廊下間・男子便所DS-廊下間にはGWは不要と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。</p>	<p>GWをお見込みください。</p>
<p>27. A-06-001</p>	
<p>水廻り詳細図(1)の平面図でPS-女子便所間の壁記号にGWの記載がありますが、壁にはGWの図示が無く相違しています。PS-女子便所間にはGWは不要と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。</p>	<p>GWをお見込みください。</p>
<p>28.</p>	
<p>水廻り詳細図(1)の平面図で女子便所～PSにW-24耐火仕様の壁がありますが、GBSt12.5を増張りと考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。</p>	<p>質疑-15でW-23:珪酸カルシウム板t8+GBRt12.5撤去としましたので、女子便所～PSのW-24は、珪酸カルシウム板t8+GBRt12.5新設をお見込みください。</p>
<p>29. A-06-002</p>	
<p>水廻り詳細図(2)でL型手摺・I型手摺・小便器用手摺の取付下地補強材が見あたりません。各手摺の下地補強の仕様詳細図をご指示ください。</p>	<p>各手摺の下地補強は、A-06-002 W-107 便所手摺・手摺取付詳細図の軽量鉄骨下地でC-150×65×20×3.2(補強材)をお見込みください。</p>
<p>30. A-12-003</p>	

(様式第7号)

<p>サイン付図でK-1に2640×300とありますが、4階EVホール廊下の天井高は2500の為、K-1サインを2500×300と読替えて宜しいでしょうか。ご指示ください。</p>	<p>宜しいです。</p>
<p>31. 工事費内訳書</p>	
<p>工事費内訳書で床材の厚みやメーカー品番の記載がありますが、図面には床材の厚みやメーカー品番の記載が見あたりません。工事費内訳書の記載を正と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。</p>	<p>宜しいです。</p>
<p>32. A-06-001</p>	
<p>水廻り詳細図(1)平面図でHC室のLSD001建具が壁収納型です。展開図では壁外納まりと相違しています。展開図を正と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。</p>	<p>平面図を正としてください。</p>
<p>33. 3階平面詳細図・工事費内訳書</p>	
<p>A階段と6・7廊下改修前図でW-15の撤去は下段の壁種別凡例のGBRt12.5+t9.5(仕上共)のみ撤去と考へLGSt90とGWt50の撤去は不要と考へて宜しいでしょうか。ご指示ください。 また、改修後のW-15の復旧はGBRt12.5+t9.5(仕上共)のみと考へて宜しいでしょうか。ご指示ください。</p>	<p>廊下6・7のW-15の撤去は、GBRt12.5+9.5(仕上共)のみ撤去、LGSt90+GWは既存のままとなります。 改修後のW-15の復旧は、GBRt12.5+9.5(仕上共)のみをお見込みください。</p>
<p>34. 3階平面詳細図・工事費内訳書</p>	
<p>A階段と6・7廊下改修前図でA階段④通り W-23の間仕切撤去範囲高さは階段踊場下端までと考へて宜しいでしょうか。また、FW-01の復旧も同様と考へて宜しいでしょうか。ご指示ください。</p>	<p>宜しいです。</p>
<p>35. 3階平面詳細図・工事費内訳書</p>	

(様式第7号)

<p>A階段と6・7廊下改修内訳書にゴミ箱移設 450×750 3ヶ所計上されていますが、仕様をご指示ください。</p>	<p>山崎産業/リサイクルボックスAP (W450×D450×H730) となります。</p>
<p><意匠> (外部)</p>	
<p>36. A-03-00</p>	
<p>特記事項、既存部補修・清掃、補修はケレン、清掃(高压洗浄等)は10～15Mpa程度と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。</p>	<p>宜しいです。</p>
<p>37. A-11-001</p>	
<p>上記質疑に伴い、R階シャフト詳細図の既存コンクリート防水返し(アゴ)はケレン+高压洗浄(10～15Mpa程度)+超速硬化ウレタン塗膜防水仕上げと考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。</p>	<p>宜しいです。</p>
<p>38. A-03-001</p>	
<p>特記事項、「既存部については、補修・清掃(高压洗浄等)を行うこと。」記載があります。補修・清掃の施工範囲をご指示ください。</p>	<p>工事範囲すべてをお見込みください。</p>
<p>39. A-11-001</p>	
<p>D-117、R階シャフト詳細図の乾式パネル新設の上下ホダーは既存再利用と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。</p>	<p>宜しいです。</p>
<p>40. A-11-001</p>	
<p>D-117、R階シャフト詳細図、設備スペース詳細図、壁の角波サイディングの下地に硬質ウレタン吹付t=25を見込んで宜しいでしょうか。ご指示ください。</p>	<p>外壁内側に硬質ウレタン吹付t=25をお見込みください。</p>
<p>41. A-11-001</p>	

(様式第7号)

<p>D-117、R階シャフト詳細図、設備スペース詳細図、立上りのアスファルト防水は既存のままと考えて宜しいでしょうか。改修がある場合は詳細図をご指示ください。</p>	<p>宜しいです。</p>
<p>42. A-11-001、工事費内訳書</p>	
<p>工事費内訳書、A-15、立上り部脱気装置(2ヶ所)の記載がありますが、設置位置をご指示ください。</p>	<p>R階の立上り部にお見込みください。</p>
<p>43. A-11-001</p>	
<p>D-113、基礎詳細図、各基礎の仕上げは、天端:コンクリート金型押え、立上:コンクリート打放補修と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。</p>	<p>宜しいです。</p>
<p>44. A-05-003</p>	
<p>4階展望デッキA、押えコンクリートの目地補修の位置をご指示ください。</p>	<p>公共建築工事標準仕様書(建築工事編)の伸縮目地の割付けにてお見込みください。(磁器質タイル撤去部のみ)</p>
<p>45. A-05-004</p>	
<p>R階展望デッキA、押えコンクリートの目地補修の位置をご指示ください。</p>	<p>公共建築工事標準仕様書(建築工事編)の伸縮目地の割付けにてお見込みください。(磁器質タイル撤去部のみ)</p>
<p>46. A-11-002</p>	
<p>D-201、既存スロープコンクリート切断面、DP塗り下地にモルタル金型を見込んで宜しいでしょうか。ご指示ください。</p>	<p>現場段階にて変更提案をお願い致します。</p>
<p>47. A-05-002</p>	
<p>4階展望デッキB、床、磁器質タイル浮き部、目地補修の位置をご指示ください。</p>	<p>磁器質タイル撤去部以外(200㎡)としてください。</p>
<p>48. A-03-001</p>	

(様式第7号)

<p>改修後外部仕上表、R階屋根に展望デッキBの記載がありますが、展望デッキBは4階屋根部と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。</p>	<p>宜しいです。</p>
<p>49. A-11-003</p>	
<p>ハンモックベンチ基礎の仕上げは、天端:コンクリート金コテ押エ、立上:コンクリート打放補修と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。</p>	<p>宜しいです。</p>
<p>50. A-11-001・A-11-003</p>	
<p>部分詳細図D-113の基礎詳細図で既存鉄筋と一体となっておりますがハンモックベンチ基礎の配筋は詳細図通りの配筋と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。</p>	<p>宜しいです。</p>
<p>51. A-03-001、A-08-003</p>	
<p>特記事項、天井ケカル板(新規及び既存)の目地コーキングの位置をご指示ください。</p>	<p>新設部にお見込みください。</p>
<p>52. A-08-003</p>	
<p>既存ケカル板塗装面にブロー清掃を見込んで宜しいでしょうか。ご指示ください。</p>	<p>現場段階にて変更提案をお願い致します。</p>
<p>53. A-11-001</p>	
<p>D-113、基礎詳細図、アルミ手摺、サインスタンド基礎の押えコン復旧の下地に D-117図の断熱材(硬質ポリスチレンフォーム:t=25)の敷き込みを見込んで宜しいでしょうか。ご指示ください。</p>	<p>宜しいです。 変更協議の対象といたします。</p>
<p>54. A-11-001</p>	

(様式第7号)

<p>D-109、コンクリート立上壁、押出成形面の裏側に硬質ウレタン吹付を見込んで宜しいでしょうか。ご指示ください。</p>	<p>宜しいです。 変更協議の対象といたします。</p>
<p>55. 工事費内訳書</p>	
<p>共通仮設費で揚重機械費が積上げの計上がありませんが、クレーン等の使用の場合は受注後の協議が可能と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>宜しいです。 変更協議の対象といたします。</p>
<p>56. A-11-004、S-01</p>	
<p>R階設備スペース部外壁改修図で横胴縁C-100×50×20×2.3において曲げ加工とありますが業者より1500Rでの曲げ加工不可と回答がありました、上下の横胴縁は□-100×100×2.3へ変更で見込んで宜しいでしょうかご指示ください。</p>	<p>宜しいです。 変更協議の対象といたします。</p>
<p>57. 共通</p>	
<p>あと施工アンカーとありますが、すべて金属系アンカーと考えて宜しいでしょうかご指示ください。</p>	<p>A-01-008 補強工事 1. あと施工アンカーに記載の通り、接着系アンカーをお見込みください。</p>

※必要に応じて行を追加すること。